

# 図画工作部会

**研究主題** みずみずしい感性と、しなやかな造形思考を求めて  
～生き生きと思いを表現できる子どもの育成～

## 1 主題について

昨年度同様、個性を生かした多様で創造的な活動を促し、造形活動の基礎的な能力を育成し、子どもが自らつくりだす喜びを味わえるような授業づくりをめざし本主題を設定した。

## 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月12日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	9月13日	交流授業（雪沢小学校）
9月28日	指導案検討会（成章小学校）	10月31日	第2回総合研究会 授業研究会（成章小学校）

## 3 研究内容

### (1) 授業研究

- ・期 日 平成24年10月31日（水）
  - ・単元名 6年「布と枝のコンサート」
  - ・会 場 成章小学校
  - ・授業者 荒川 富紀子
- ～音楽のイメージを形に～

#### ① 授業者から

- ・近くで山でせん定した枝を適当な大きさにカットし、土台となる部分の組み合わせを考えた。予想していたことではあったが、子どもたちは、太い枝どうしを接合する際、ぐらぐらしたりくずれたりしないようにするのに苦労していた。
- ・今回は三つの特徴ある曲から選択させ、イメージを広げさせることに挑戦した。よく聞く曲が安心なのか、一つの曲に人数が偏ってしまい、選曲の難しさを感じた。
- ・曲からイメージさせて制作活動を進める際、「思い」と「材料」と「どんな方法（接合方法等）で」を結び付けながら考えさせたことが、子どもたち一人一人の創作活動の手助けとなり効果的だった。
- ・本時では、布を使ったいろいろな表現方法（ねじる・張る・たらす等）が出てきてよかった。

#### ② 協議

##### ○造形活動の基礎的な能力に関連して

- ・直線的な枝と曲線的なあけびのつる等いろいろな種類がたっぷり準備されていて、表現に広がりがあった。
- ・自然の材料以外では、布やモール等の巻きつけるものが多かった。それ以外の材料があってもおもしろかったかもしれない。
- ・イメージはもっているがつくり方がよく分からない子へは、やり方を教えてあげる必要がある。（校務主事等へ依頼）



【不思議な音楽からイメージを広げて】

- ・本時のように、授業の始めに十分に言葉でイメージを広げさせたり、途中で友達の商品を紹介したりする活動を設定すると、つくるものをイメージしやすくなる。

○言語活動の充実に関連して

- ・学習カードへ製作の仕方等を言葉で記入させることにより、イメージを広げ深めていくことができるように工夫されていた。また、それを基により適切なアドバイスもできた。
- ・つくりながら交流を深め、お互いにアドバイスし合いながら商品を仕上げていくことができるように、場の設定が工夫されていた。

○評価に関連して

- ・評価の観点が【創造的技術】だが、学習カードの記述と関連させてより適切な評価ができる。

(2) 指導助言（嘉藤 貴子 指導主事）

- ・発想の手がかりを音楽にしている。音楽から受けるイメージを図画工作にどのように展開していくのが大事だ。題名を伏せた音楽からイメージし、題名を自分で付けさせ、イメージをしっかりとらせた上で表現につなげているのがよい。一人一人がイメージをしっかりとっているため、どれ一つ似たような表現がなく、工夫して表現されていた。
- ・材料をよく鑑賞している。形の異なるものをどうやって使うか鑑賞しながら表現に生かしてきて、物の見方が身に付いている。
- ・イメージを実現させるための材料の準備や用具の使い方が分かっているため、多様な表現につながっている。
- ・表現に生きるタイミングで学び合いが設定されていた。また、場の設定が工夫されていて、他の人から学び、自分に生かすことのできる環境が整っていた。
- ・何もないところから何かを生み出す抽象的表現は難しい。一人一人の子どもの成長に応じて柔軟に対応する必要がある。
- ・自分の感覚や活動を通してイメージをもつことを生かして題材を組み立てている。学習カードや発表場面の設定を工夫することで、その目には見えないイメージを見取ることができる手立てをとっている。
- ・子どもの表現活動が30分間保障されていて、子どもたちが満足いく授業だった。これからは子どもたちが十分活動できる授業を心がけてほしい。

(3) 実技研修会

- ・今回のテーマはクロッキー。鉛筆や筆を画材に、時間を1分間に限定して様々に条件を変えてモデルを描いた。また、まめや落花生、落ち葉、しいたけなどの様子をじっくり見て描いたりもし、描く楽しさや他の作品と見比べ自分の作品に生かすことのよさなども実感することができた。ぜひ、学校にもどってから実践してみたい有意義な研修内容だった。



【実技研修風景から】

## 4 成果と課題

(1) 成果

- ・目には見えないイメージを膨らませ確かにもたせるための題材設定や学習カード、学び合いの工夫について、授業を通して研修を深めることができた。
- ・図画工作科における言語活動の果たす役割について、共通理解を図ることができた。

(2) 課題

- ・感性を働かせながらつくり出す喜びを味わえるような支援の在り方について、今後も研究を進めていく必要がある。